

5.2 大気質

5.2.1 調 査

(1) 調査概要

事業計画地周辺における大気質の現況濃度、経年変化、環境基準の達成状況及び交通量を把握するために資料調査及び現地調査を実施した。また、既存資料及び現地での確認により、事業計画地周辺の住宅等の配置の状況について調査した。

資料調査の内容は表 5.2.1 に、現地調査の内容は表 5.2.2 に、大気質の資料調査地点は図 5.2.1 に、大気質・交通量の現地調査地点は図 5.2.2 にそれぞれ示すとおりである。

表 5.2.1 資料調査の内容

調査項目		調査時期	調査方法
○大気質の状況 二酸化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子状物質（環境基準達成状況、測定結果等）	二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の環境基準の達成状況	平成 29 年度～令和 3 年度（5 年間）	事業計画地周辺の一般局及び自排局のデータの収集・整理
	二酸化硫黄、窒素酸化物、浮遊粒子状物質の測定結果等	平成 29 年度～令和 3 年度（5 年間）	事業計画地周辺の一般局（此花区役所局、南港中央公園局）のデータの収集・整理
○気象の状況 風向、風速、日射量、雲量等	風向、風速	平成 29 年度～令和 3 年度（5 年間）	大阪管区气象台のデータの収集・整理
	日射量、雲量	最新年度（令和 3 年度）	
	降水量	平成 29 年度～令和 3 年度（5 年間）	
○住宅等の立地状況	—	令和 4 年度 12 月時点	住宅地図、航空写真等による整理

表 5.2.2(1) 現地調査の内容（一般環境）

調査項目	調査地点	調査時期	調査方法
二酸化硫黄	事業計画地内の 1 地点 ・ No.1 地点 (事業敷地境界上)	〔冬季〕 令和 2 年 2 月 7 日(金) 0 時 ～ 2 月 20 日(木) 24 時	「大気の汚染に係る環境基準について」に定める方法 [具体的な手法] 紫外線蛍光法
窒素酸化物		〔春季〕 令和 2 年 4 月 9 日(木) 0 時 ～ 4 月 22 日(水) 24 時	「二酸化窒素に係る環境基準について」に定める方法 [具体的な手法] オゾンを用いる化学発光法
浮遊粒子状物質		〔夏季〕 令和 2 年 7 月 21 日(火) 0 時 ～ 8 月 3 日(月) 24 時	「大気の汚染に係る環境基準について」に定める方法 [具体的な手法] β 線吸収法
風向・風速		〔秋季〕 令和 2 年 10 月 22 日(木) 0 時 ～ 11 月 4 日(水) 24 時	「地上気象観測指針」に定める方法 [具体的な手法] 風車型風向風速計による観測

表 5.2.2(2) 現地調査の内容（沿道環境）

調査項目	調査地点	調査時期	調査方法
窒素酸化物	事業計画地周辺の主要道路沿道 3 地点 ・ No. 2 地点 市道福島桜島線（北港通） ・ No. 3 地点 国道 172 号（みなと通） ・ No. 5 地点 臨港道路コスモ北線	[冬季] 令和 2 年 2 月 7 日（金） 0 時 ～ 2 月 20 日（木） 24 時	「二酸化窒素に係る環境基準について」に定める方法 [具体的な手法] オゾンを用いる化学発光法
浮遊粒子状物質		[春季] 令和 2 年 4 月 9 日（木） 0 時 ～ 4 月 22 日（水） 24 時	「大気汚染に係る環境基準について」に定める方法 [具体的な手法] β 線吸収法
風向・風速		[夏季] 令和 2 年 7 月 21 日（火） 0 時 ～ 8 月 3 日（月） 24 時 [秋季] 令和 2 年 10 月 22 日（木） 0 時 ～ 11 月 4 日（水） 24 時	「地上気象観測指針」に定める方法 [具体的な手法] 風車型風向風速計による観測
交通量	事業計画地周辺の主要道路沿道 4 地点 ・ No. 2 地点 市道福島桜島線（北港通） ・ No. 3 地点 国道 172 号（みなと通） ・ No. 4 地点 臨港道路環状西線 ・ No. 5 地点 臨港道路コスモ北線	[平日] 令和 2 年 11 月 4 日（水） 12 時 ～ 11 月 5 日（木） 12 時 [休日] 令和 2 年 11 月 1 日（日） 0 時 ～ 24 時	交通量を目視により計数 2 車種（小型車類、大型車類） ^{注）} [具体的な手法] カウンター（車種別方向別 24 時間交通量）及びストップウォッチ（方向別車速）を用いた目視観測

（注）車種別交通量の車種区分は表 5.2.18 に示すとおりである。



図 5.2.2 現地調査地点

(2) 調査結果

(a) 資料調査結果

(7) 大気質の状況

(i) 二酸化硫黄 (SO₂)

大阪市内の一般局及び自排局における二酸化硫黄に係る環境基準の達成状況（平成 29 年度～令和 3 年度）は表 5.2.3 に示すとおりであり、各年度ともに全ての局で環境基準を達成している。

表 5.2.3 二酸化硫黄に係る環境基準の達成状況

区分	項目 年度	年平均値 (ppm)	日平均値の 2 % 除外値 (ppm)	環境基準の達成状況 (達成局数/測定局数)
一般局	平成29年度	0.002～0.006	0.005～0.014	11／11
	平成30年度	0.001～0.006	0.004～0.019	11／11
	令和元年度	0.002～0.006	0.004～0.015	11／11
	令和2年度	0.003～0.005	0.005～0.015	10／10 ^{注)}
	令和3年度	0.001～0.004	0.002～0.010	11／11
自排局	平成29年度	0.005	0.011～0.012	2／2
	平成30年度	0.003～0.004	0.008	2／2
	令和元年度	0.003	0.005～0.007	2／2
	令和2年度	0.003	0.004～0.007	2／2
	令和3年度	0.002～0.003	0.003～0.008	2／2

(注) 令和2年度は、国設大阪が有効測定期間に満たないため、環境基準の判定から除外している。

出典：「2017（平成29）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、平成30(2018)年8月）

「2018（平成30）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、令和元(2019)年8月）

「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2020年8月）

「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2021年8月）

「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

此花区役所局及び南港中央公園局の二酸化硫黄濃度の測定結果（令和3年度）、二酸化硫黄濃度の年平均値及び日平均値の2%除外値の経年変化は、表 5.2.4 及び図 5.2.3 に示すとおりである。

表 5.2.4(1) 此花区役所局、南港中央公園局の二酸化硫黄濃度の測定結果（令和3年度）

区分	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数
		日	時間	ppm	時間	%	日	%	ppm	ppm	有×・無○	日
一般局	此花区役所局	364	8,713	0.004	0	0.0	0	0.0	0.030	0.007	○	0
	南港中央公園局	365	8,714	0.003	0	0.0	0	0.0	0.013	0.005	○	0

出典：「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

表 5.2.4(2) 此花区役所局、南港中央公園局の二酸化硫黄濃度の年平均値及び日平均値の2%除外値の経年変化

項目	測定局	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年平均値 (ppm)	此花区役所局	0.002	0.0003	0.005	0.003	0.004
	南港中央公園局	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003
日平均値の 2%除外値 (ppm)	此花区役所局	0.006	0.007	0.010	0.006	0.007
	南港中央公園局	0.009	0.009	0.008	0.006	0.005

出典：「2017（平成29）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、平成30(2018)年8月）

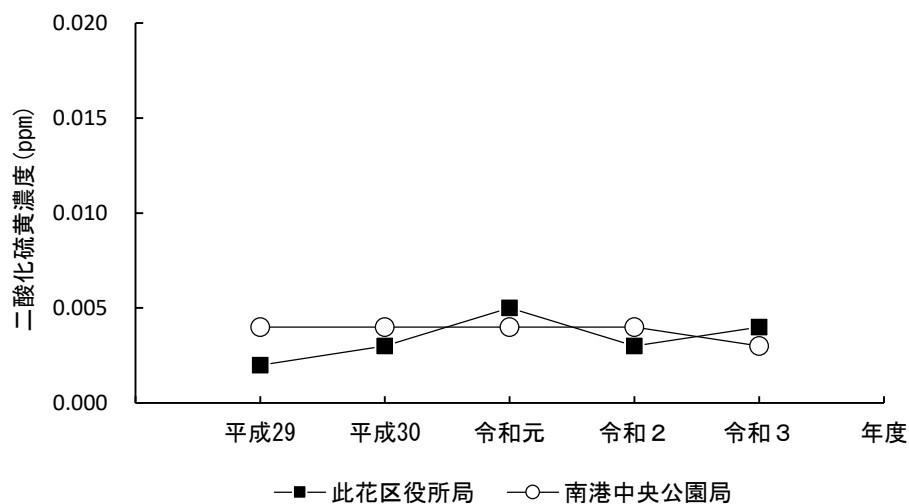
「2018（平成30）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、令和元(2019)年8月）

「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2020年8月）

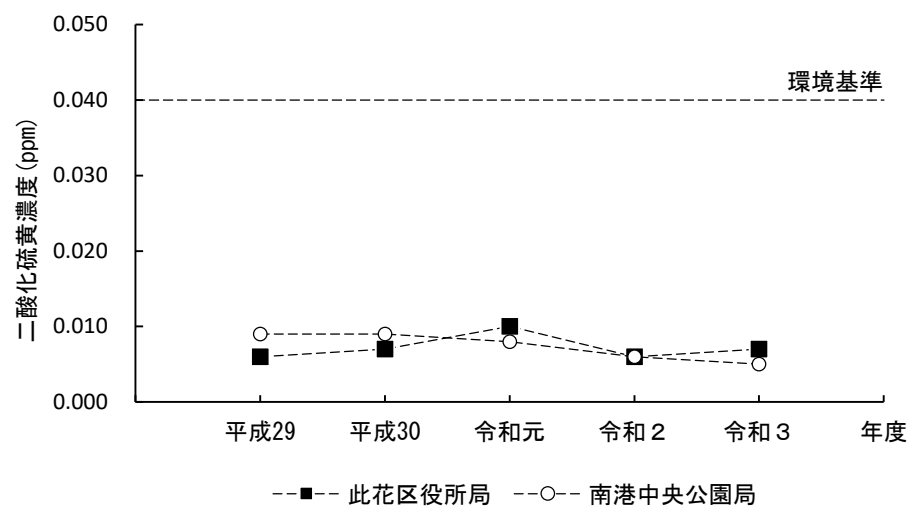
「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2021年8月）

「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

【年平均値】



【日平均値の2%除外値】



出典：「2017（平成29）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、平成30（2018）年8月）
「2018（平成30）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、令和元（2019）年8月）
「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2020年8月）
「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2021年8月）
「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

図 5. 2. 3 此花区役所局、南港中央公園局の二酸化硫黄濃度の経年変化
（平成 29 年度～令和 3 年度）

(ii) 二酸化窒素 (NO₂)

大阪市内の一般局及び自排局における二酸化窒素に係る環境基準の達成状況（平成 29 年度～令和 3 年度）は表 5.2.5 に示すとおりであり、各年度ともに全ての局で環境基準を達成している。

表 5.2.5 二酸化窒素に係る環境基準の達成状況

区分	項目 年度	年平均値 (ppm)	日平均値の年間98%値 (ppm)	環境基準の達成状況 (達成局数/測定局数)
一般局	平成29年度	0.016～0.023	0.035～0.048	14/14
	平成30年度	0.015～0.022	0.033～0.045	14/14
	令和元年度	0.014～0.020	0.032～0.043	14/14
	令和2年度	0.013～0.019	0.032～0.043	14/14
	令和3年度	0.013～0.019	0.032～0.040	13/13 ^{注)}
自排局	平成29年度	0.020～0.030	0.037～0.053	11/11
	平成30年度	0.018～0.028	0.034～0.046	11/11
	令和元年度	0.017～0.025	0.038～0.046	11/11
	令和2年度	0.016～0.024	0.033～0.043	11/11
	令和3年度	0.015～0.024	0.032～0.043	11/11

(注) 淀中学校局が令和3年3月で測定を終了している。

出典：「2017（平成29）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、平成30(2018)年8月）

「2018（平成30）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、令和元(2019)年8月）

「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2020年8月）

「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2021年8月）

「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

此花区役所局及び南港中央公園局の窒素酸化物濃度の測定結果（令和3年度）、二酸化窒素濃度の年平均値及び日平均値の年間98%値の経年変化は、表 5.2.6 及び図 5.2.4 に示すとおりである。

表 5.2.6(1) 此花区役所局、南港中央公園局の窒素酸化物濃度の測定結果（令和3年度）

区分	測定局	二酸化窒素										
		有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値の年間98%値	98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数	
		日	時間	ppm	ppm	日	%	日	%	ppm	日	
一般局	此花区役所局	364	8,707	0.018	0.072	0	0.0	3	0.8	0.038	0	
	南港中央公園局	365	8,714	0.019	0.086	0	0.0	10	2.7	0.040	0	
区分	測定局	一酸化窒素					窒素酸化物					
		有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値年間の98%値	年平均値の $\frac{\text{NO}_2}{\text{NO}+\text{NO}_2}$
		日	時間	ppm	ppm	ppm	日	時間	ppm	ppm	ppm	%
一般局	此花区役所局	364	8,707	0.006	0.136	0.025	364	8,707	0.024	0.179	0.059	73.4
	南港中央公園局	365	8,714	0.008	0.201	0.032	365	8,714	0.027	0.263	0.067	71.2

出典：「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

表 5.2.6(2) 此花区役所局、南港中央公園局の窒素酸化物濃度、二酸化窒素濃度の年平均値及び日平均値の年間98%値の経年変化

項目		測定局	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
窒素酸化物	年平均値(ppm)	此花区役所局	0.029	0.028	0.025	0.024	0.024
		南港中央公園局	0.031	0.031	0.027	0.028	0.027
二酸化窒素	年平均値(ppm)	此花区役所局	0.021	0.020	0.019	0.017	0.018
		南港中央公園局	0.023	0.022	0.020	0.019	0.019
	日平均値の年間98%値(ppm)	此花区役所局	0.043	0.041	0.036	0.038	0.038
		南港中央公園局	0.048	0.045	0.043	0.043	0.040

出典：「2017（平成29）年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、平成30(2018)年8月）

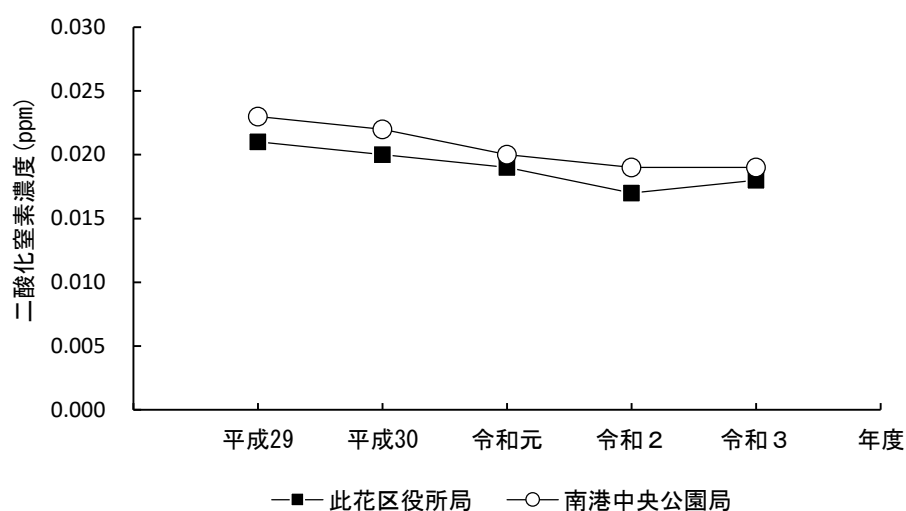
「2018（平成30）年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、令和元(2019)年8月）

「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2020年8月）

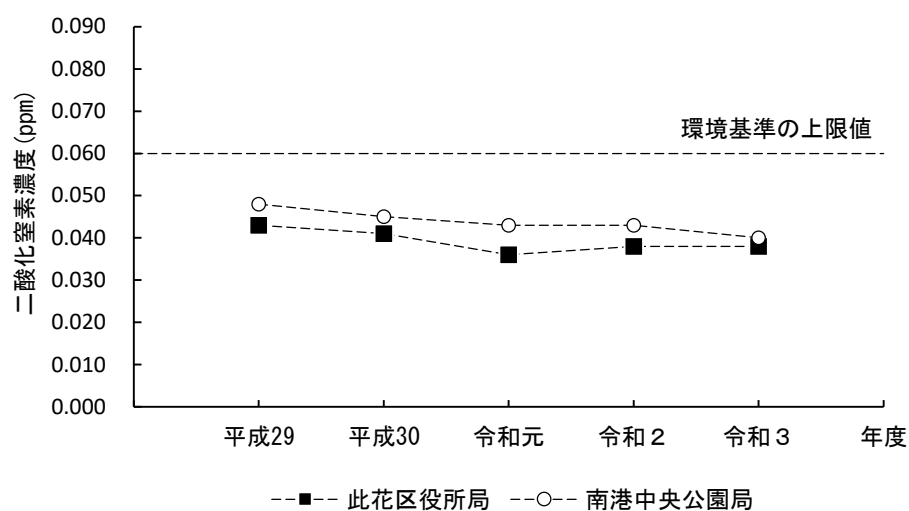
「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2021年8月）

「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

【年平均値】



【日平均値の年間 98%値】



出典：「2017（平成29）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、平成30(2018)年8月）
「2018（平成30）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、令和元(2019)年8月）
「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2020年8月）
「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2021年8月）
「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

図 5.2.4 此花区役所局、南港中央公園局の二酸化窒素濃度の経年変化
（平成 29 年度～令和 3 年度）

(iii) 浮遊粒子状物質 (SPM)

大阪市内の一般局及び自排局における浮遊粒子状物質に係る環境基準の達成状況（平成 29 年度～令和 3 年度）は表 5.2.7 に示すとおりであり、各年度ともに全ての局で環境基準を達成している。

表 5.2.7 浮遊粒子状物質に係る環境基準の達成状況

区分	項 目 年 度	年平均値 (mg/m ³)	日平均値の 2 %除外値 (mg/m ³)	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上 連続しないこと (達成局数/測定局数)	環境基準の達成状況 (達成局数/測定局数)
一般局	平成29年度	0.018～0.026	0.039～0.051	15 / 15	15 / 15
	平成30年度	0.016～0.026	0.034～0.050	15 / 15	15 / 15
	令和元年度	0.014～0.022	0.033～0.047	15 / 15	15 / 15
	令和2年度	0.014～0.021	0.034～0.050	15 / 15	15 / 15
	令和3年度	0.012～0.019	0.026～0.043	14 / 14	14 / 14 ^{注)}
自排局	平成29年度	0.018～0.024	0.041～0.050	9 / 9	9 / 9
	平成30年度	0.018～0.023	0.038～0.049	9 / 9	9 / 9
	令和元年度	0.015～0.021	0.035～0.046	9 / 9	9 / 9
	令和2年度	0.015～0.019	0.036～0.046	9 / 9	9 / 9
	令和3年度	0.013～0.017	0.029～0.038	9 / 9	9 / 9

(注) 淀中学校局が令和3年3月で測定を終了している。

出典：「2017（平成29）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、平成30(2018)年8月）

「2018（平成30）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、令和元(2019)年8月）

「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2020年8月）

「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2021年8月）

「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

此花区役所局及び南港中央公園局の浮遊粒子状物質濃度の測定結果（令和3年度）、浮遊粒子状物質濃度の年平均値及び日平均値の2 %除外値の経年変化は、表 5.2.8 及び図 5.2.5 に示すとおりである。

表 5.2.8(1) 此花区役所局、南港中央公園局の浮遊粒子状物質濃度の測定結果（令和 3 年度）

区分	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1 時間値が 0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の 2 % 除外値	日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日数
		日	時間	mg/m ³	時間	%	日	%	mg/m ³	mg/m ³	有×・無○	日
一般局	此花区役所局	362	8,684	0.015	0	0.0	0	0.0	0.158	0.032	○	0
	南港中央公園局	363	8,691	0.014	0	0.0	0	0.0	0.093	0.032	○	0

出典：「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年 8 月）

表 5.2.8(2) 此花区役所局、南港中央公園局の浮遊粒子状物質濃度の年平均値及び日平均値の 2 %除外値の経年変化

項目	測定局	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
年平均値 (mg/m ³)	此花区役所局	0.019	0.018	0.016	0.016	0.015
	南港中央公園局	0.019	0.017	0.016	0.015	0.014
日平均値の 2 %除外値 (mg/m ³)	此花区役所局	0.042	0.036	0.037	0.039	0.032
	南港中央公園局	0.041	0.036	0.036	0.036	0.032

出典：「2017（平成29）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、平成30(2018)年 8 月）

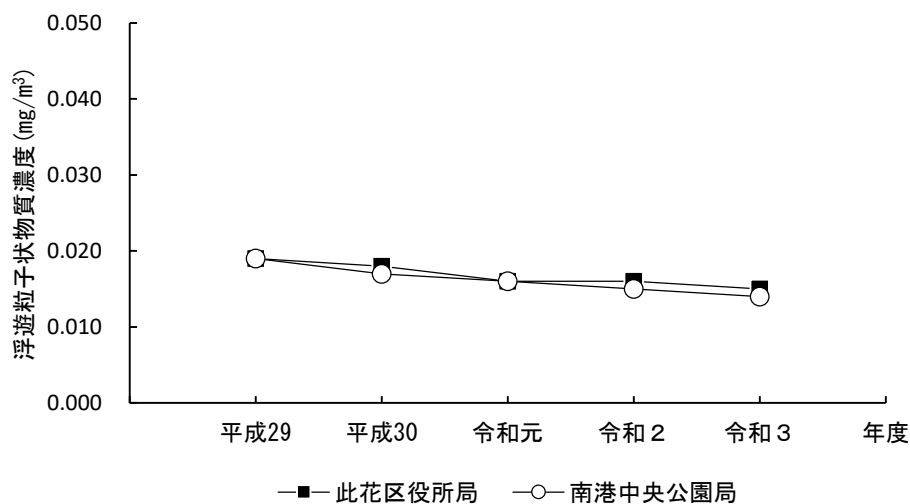
「2018（平成30）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、令和元(2019)年 8 月）

「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2020年 8 月）

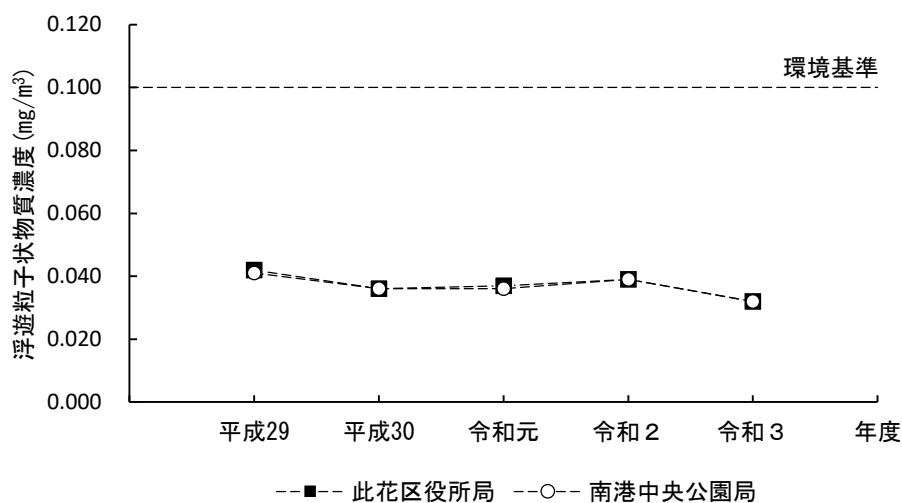
「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2021年 8 月）

「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年 8 月）

【年平均値】



【日平均値の2%除外値】



出典：「2017（平成29）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、平成30（2018）年8月）
「2018（平成30）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、令和元（2019）年8月）
「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2020年8月）
「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2021年8月）
「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

図 5.2.5 此花区役所局、南港中央公園局の浮遊粒子状物質濃度の経年変化
（平成 29 年度～令和 3 年度）

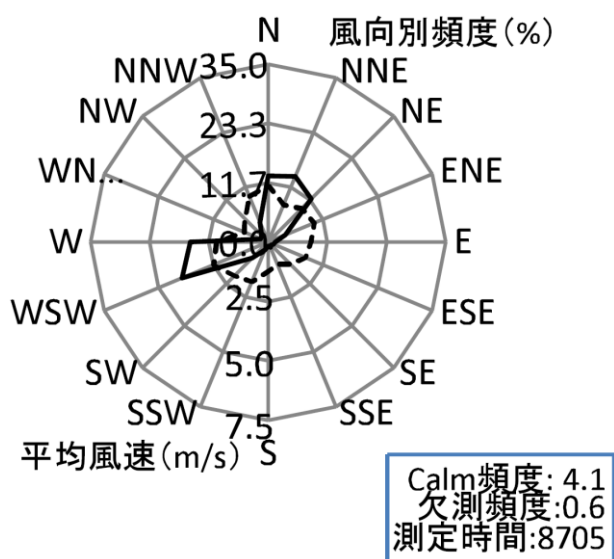
(イ) 気象の状況

(i) 風向・風速

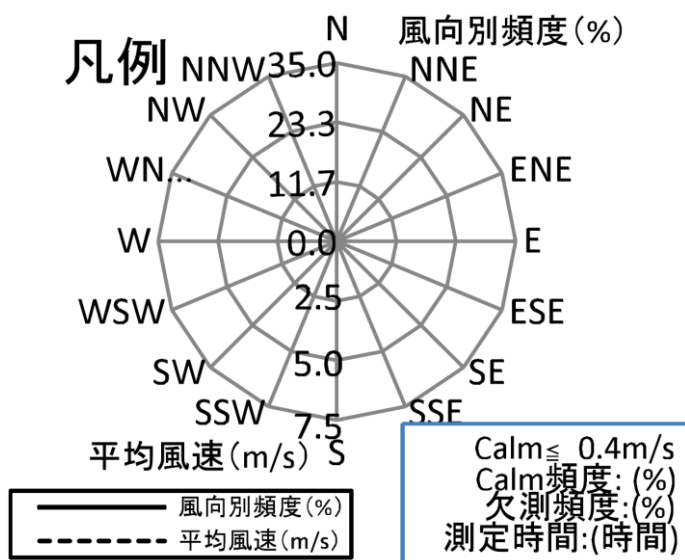
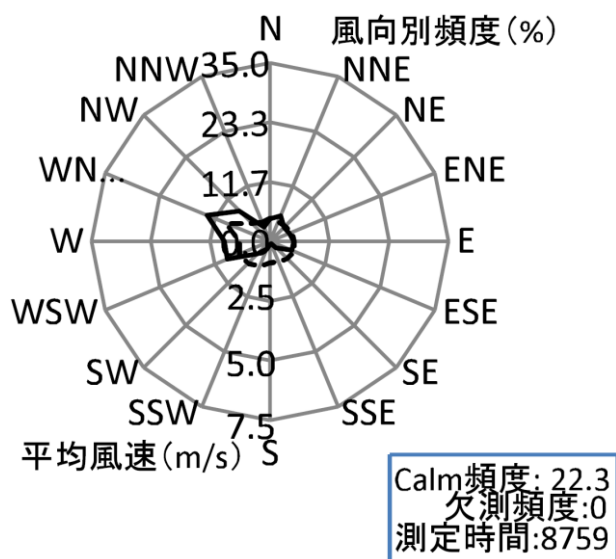
此花区役所局及び南港中央公園局の風配図（令和3年度）は、図 5.2.6 に示すとおりであり、風向は、此花区役所局では西南西の頻度が最も多く、南港中央公園局では西北西の風の頻度が最も多くなっている。

風向・風速の測定結果（平成 29 年度～令和 3 年度）は、表 5.2.9 に示すとおりであり、平均風速、最多風向ともに大きな変化はない。

【此花区役所局】



【南港中央公園局】



出典：「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年 8 月）

図 5.2.6 此花区役所局、南港中央公園局の風配図（令和3年度）

表 5.2.9 此花区役所局、南港中央公園局の風向・風速の測定結果

測定局	年 度	観測高さ (m)	平均風速 (m/s)	最多風向	Calm 頻度 ¹⁾ (%)
此花区役所局	平成29年度	17.0	2.1	西南西	3.8
	平成30年度	17.0	2.1	西南西	3.8
	令和元年度	17.0	2.1	西南西	3.5
	令和2年度	17.0	2.1	西南西	3.7
	令和3年度	17.0	2.0	西南西	4.1
南港中央公園局	平成29年度	14.0	1.0	西北西	27.9
	平成30年度	14.0	1.0	西北西	20.8
	令和元年度	14.0	1.0	西北西	22.3
	令和2年度	14.0	0.9	西北西	33.1
	令和3年度	14.0	1.1	西北西	22.3

(注) 「Calm 頻度」は 0.4m/s 以下の割合を示す。

出典：「2017（平成29）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、平成30(2018)年8月）
「2018（平成30）年度 大気汚染常時測定局測定結果」（大阪府、令和元(2019)年8月）
「2019年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2020年8月）
「2020年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2021年8月）
「2021年度 大気汚染常時監視測定局測定結果」（大阪府、2022年8月）

(ii) 日射量・雲量・降水量

大阪管区気象台の日射量・雲量・降水量の測定結果（令和３年度）は、表 5.2.10 に示すとおりであり、平均全天日射量は 14.3MJ/m²、平均雲量は 6.7、平均月間降水量は 158.4mm となっている。

また、降水量の測定結果（平成 29 年度～令和 3 年度）は、表 5.2.11 及び図 5.2.7 に示すとおりであり、総降水量は 1,305.0～1,900.5mm となっている。

表 5.2.10 日射量・雲量・降水量の測定結果（令和 3 年度）

月		全天日射量 (MJ/m ²)	月平均雲量	月間降水量 (mm)
令和 3 年	4 月	18.8	6.3	224.0
	5 月	17.3	7.8	340.0
	6 月	18.6	8.2	172.0
	7 月	18.7	7.8	268.5
	8 月	16.1	8.0	314.5
	9 月	13.1	8.2	192.0
	10 月	13.5	5.6	68.5
	11 月	10.6	5.8	98.5
	12 月	9.2	5.2	81.5
令和 4 年	1 月	9.0	5.8	20.0
	2 月	12.6	5.1	16.5
	3 月	14.5	6.8	104.5
平均値		14.3	6.7	158.4

出典：気象庁ホームページより作成

表 5.2.11 降水量の測定結果（平成 29 年度～令和 3 年度）

年 度	総降水量 (mm)	日降水量の 最高値 (mm)	1 時間の 最高値 (mm)	10 分間の 最高値 (mm)
平成29年度	1,367.5	174.0	24.0	13.5
平成30年度	1,574.5	124.5	30.0	11.5
令和元年度	1,305.0	101.5	31.0	13.5
令和 2 年度	1,550.5	64.0	34.0	19.0
令和 3 年度	1,900.5	105.0	49.5	19.5

出典：気象庁ホームページより作成

(ウ) 住宅等の立地状況

事業計画地周辺における住宅等の位置は、図 5.2.7 に示すとおりである。

事業計画地がある夢洲には、物流センターやコンテナターミナルがあるが、学校、病院、住宅等の保全施設はない。

夢洲の北側にある舞洲には、物流センターに加え、舞洲スラッジセンター（下水汚泥処理場）、大阪広域環境施設組合舞洲工場（ごみ焼却場）、スポーツ施設、舞洲緑地等があり、夢洲に面する箇所にはホテルやロジの宿泊施設があるが、住宅等の保全施設はない。

施設関連車両及び工事関連車両の走行ルートである市道福島桜島線（北港通）及び国道 172 号（みなと通）の沿道地域には、住宅等が立地している。

また、咲洲の臨港道路コスモ北線と臨港道路コスモ西線の交差点の周辺には、小学校、特別養護老人ホーム及び中高層住宅が立地している。臨港道路環状西線の東側及び臨港道路環状北線の南側は、第 1 種中高層住居専用地域となっており、中高層住宅が多数立地している。



図 5.2.7 事業計画地周辺における住宅等の位置

(b) 現地調査結果

(7) 大気質の現況

(i) 二酸化硫黄濃度 (SO₂)

二酸化硫黄濃度 (SO₂) の現地調査結果は、表 5.2.12 に示すとおりである。

No.1 (一般環境) の期間平均値は 0.001ppm であり、現地調査と同期間の此花区役所局 (0.004ppm) 及び南港中央公園局 (0.004ppm) の期間平均値より低くなっている。

表 5.2.12 二酸化硫黄濃度の現地調査結果

調査地点		調査期間	有効測定 日数 (日)	有効測定 時間 (時間)	期間 平均値 (ppm)	1 時間値 の最高値 (ppm)	日平均値 の最高値 (ppm)
一般環境	No.1	冬 季	14	336	0.001	0.005	0.002
		春 季	14	336	0.001	0.006	0.003
		夏 季	14	336	0.002	0.009	0.003
		秋 季	14	336	0.001	0.004	0.002
		全期間	56	1,344	0.001	0.009	0.003
	此花区役所局	冬 季	6	168	(0.004)	0.008	0.005
		春 季	14	334	0.003	0.008	0.005
		夏 季	14	335	0.003	0.013	0.007
		秋 季	14	335	0.004	0.007	0.005
		全期間	48	1,172	(0.004)	0.013	0.007
	南港中央公園局	冬 季	14	334	0.004	0.009	0.005
		春 季	14	335	0.004	0.007	0.005
		夏 季	14	334	0.004	0.011	0.006
		秋 季	14	334	0.005	0.008	0.006
		全期間	56	1,337	0.004	0.011	0.006

(注) 1. 調査期間は、以下に示すとおりである。

〔冬季〕令和2年2月7日(金) 0:00 ~ 2月20日(木) 24:00

〔春季〕令和2年4月9日(木) 0:00 ~ 4月22日(水) 24:00

〔夏季〕令和2年7月21日(火) 0:00 ~ 8月3日(月) 24:00

〔秋季〕令和2年10月22日(木) 0:00 ~ 11月4日(水) 24:00

2. 此花区役所局の調査結果においては、冬季は欠測期間があるため、参考値である。

3. 全期間の期間平均値は、四季調査全期間中の1時間値から算出した。

(ii) 二酸化窒素濃度 (NO₂)

窒素酸化物濃度 (NO₂、NO、NO_x) の現地調査結果は表 5.2.13 に、時間帯別の二酸化窒素濃度 (NO₂) は図 5.2.8 に示すとおりである。

No.1 (一般環境) の二酸化窒素濃度の期間平均値は 0.014ppm であり、現地調査と同期間の此花区役所局 (0.017ppm) 及び南港中央公園局 (0.020ppm) の期間平均値より低くなっている。No.2、No.3 及び No.5 (沿道環境) の期間平均値については、0.020ppm~0.022ppm であり、No.1 (一般環境) の測定結果より 0.006~0.008ppm 高くなっている。

表 5. 2. 13(1) 二酸化窒素濃度の現地調査結果

項目	調査地点	対象道路	調査期間	有効測定 日数 (日)	有効測定 時間 (時間)	期間 平均値 (ppm)	1 時間値 の最高値 (ppm)	日平均値 の最高値 (ppm)
二酸化窒素	一般環境	No. 1	—	冬 季	14	336	0.020	0.066
				春 季	14	336	0.012	0.058
				夏 季	14	336	0.011	0.033
				秋 季	14	336	0.013	0.044
				全期間	56	1,344	0.014	0.066
		此花区役所局 ²⁾	—	冬 季	0	16	(0.035)	—
				春 季	14	335	0.015	0.049
				夏 季	14	333	0.016	0.041
				秋 季	14	334	0.018	0.047
				全期間	42	1,018	0.017	0.031
		南港中央公園局	—	冬 季	14	334	0.026	0.066
				春 季	14	335	0.017	0.058
				夏 季	14	335	0.015	0.041
				秋 季	14	334	0.021	0.056
				全期間	56	1,338	0.020	0.066
	沿道環境	No. 2	市道福島 桜島線 (北港通)	冬 季	14	336	0.029	0.071
				春 季	14	336	0.021	0.060
				夏 季	14	336	0.019	0.056
				秋 季	14	336	0.020	0.054
				全期間	56	1,344	0.022	0.071
		No. 3	国道 172 号 (みなと通)	冬 季	14	336	0.027	0.073
				春 季	14	336	0.020	0.065
				夏 季	14	336	0.019	0.050
				秋 季	14	336	0.020	0.052
				全期間	56	1,344	0.022	0.073
		No. 5	臨港道路 コスモ北線	冬 季	14	336	0.025	0.062
				春 季	14	336	0.018	0.055
				夏 季	14	336	0.018	0.052
				秋 季	14	336	0.021	0.056
				全期間	56	1,344	0.020	0.063

(注) 1. 調査期間は、以下に示すとおりである。

〔冬季〕 令和 2 年 2 月 7 日(金) 0:00 ~ 2 月 20 日(木) 24:00

〔春季〕 令和 2 年 4 月 9 日(木) 0:00 ~ 4 月 22 日(水) 24:00

〔夏季〕 令和 2 年 7 月 21 日(火) 0:00 ~ 8 月 3 日(月) 24:00

〔秋季〕 令和 2 年 10 月 22 日(木) 0:00 ~ 11 月 4 日(水) 24:00

2. 此花区役所局の調査結果においては、冬季は欠測期間があるため、参考値である。

3. 全期間の期間平均値は、四季調査全期間中の 1 時間値から算出した。

表 5. 2. 13(2) 一酸化窒素濃度の現地調査結果

項目	調査地点	対象道路	調査期間	有効測定 日数 (日)	有効測定 時間 (時間)	期間 平均値 (ppm)	1 時間値 の最高値 (ppm)	日平均値 の最高値 (ppm)
一酸化窒素	一般環境	No. 1	冬 季	14	336	0.012	0.125	0.037
			春 季	14	336	0.004	0.062	0.010
			夏 季	14	336	0.004	0.048	0.009
			秋 季	14	336	0.003	0.033	0.007
			全期間	56	1,344	0.006	0.125	0.037
		此花区役所局 ²⁾	冬 季	0	16	(0.030)	0.073	—
			春 季	14	335	0.004	0.038	0.010
			夏 季	14	333	0.006	0.041	0.011
			秋 季	14	334	0.006	0.037	0.011
			全期間	42	1,018	0.006	0.073	0.011
		南港中央公園局	冬 季	14	334	0.019	0.153	0.062
			春 季	14	335	0.003	0.067	0.011
			夏 季	14	335	0.009	0.050	0.024
			秋 季	14	334	0.007	0.058	0.014
			全期間	56	1,338	0.009	0.153	0.062
	沿道環境	No. 2	冬 季	14	336	0.024	0.148	0.047
			春 季	14	336	0.008	0.070	0.018
			夏 季	14	336	0.014	0.107	0.027
			秋 季	14	336	0.010	0.070	0.016
			全期間	56	1,344	0.014	0.148	0.047
		No. 3	冬 季	14	336	0.019	0.138	0.054
			春 季	14	336	0.006	0.059	0.020
			夏 季	14	336	0.012	0.074	0.028
			秋 季	14	336	0.006	0.072	0.013
			全期間	56	1,344	0.011	0.138	0.054
		No. 5	冬 季	14	336	0.023	0.128	0.064
			春 季	14	336	0.009	0.093	0.023
			夏 季	14	336	0.011	0.088	0.032
			秋 季	14	336	0.010	0.064	0.022
			全期間	56	1,344	0.013	0.128	0.064

(注) 1. 調査期間は、以下に示すとおりである。

〔冬季〕 令和 2 年 2 月 7 日(金) 0:00 ~ 2 月 20 日(木) 24:00

〔春季〕 令和 2 年 4 月 9 日(木) 0:00 ~ 4 月 22 日(水) 24:00

〔夏季〕 令和 2 年 7 月 21 日(火) 0:00 ~ 8 月 3 日(月) 24:00

〔秋季〕 令和 2 年 10 月 22 日(木) 0:00 ~ 11 月 4 日(水) 24:00

2. 此花区役所局の調査結果においては、冬季は欠測期間があるため、参考値である。

3. 全期間の期間平均値は、四季調査全期間中の 1 時間値から算出した。

表 5. 2. 13(3) 窒素酸化物濃度の現地調査結果

項目	調査地点	対象道路	調査期間	有効測定 日数 (日)	有効測定 時間 (時間)	期間 平均値 (ppm)	1 時間値 の最高値 (ppm)	日平均値 の最高値 (ppm)
窒素酸化物	一般環境	No. 1	—	冬 季	14	336	0.032	0.171
				春 季	14	336	0.016	0.105
				夏 季	14	336	0.016	0.069
				秋 季	14	336	0.016	0.075
				全期間	56	1,344	0.020	0.081
		此花区役所局 ²⁾	—	冬 季	0	16	(0.064)	—
				春 季	14	335	0.019	0.082
				夏 季	14	333	0.022	0.063
				秋 季	14	334	0.024	0.079
				全期間	42	1,018	0.022	0.040
		南港中央公園局	—	冬 季	14	334	0.045	0.206
				春 季	14	335	0.020	0.117
				夏 季	14	335	0.024	0.088
				秋 季	14	334	0.028	0.097
				全期間	56	1,338	0.029	0.109
	沿道環境	No. 2	市道福島 桜島線 (北港通)	冬 季	14	336	0.053	0.201
				春 季	14	336	0.028	0.127
				夏 季	14	336	0.033	0.139
				秋 季	14	336	0.030	0.101
				全期間	56	1,344	0.036	0.093
		No. 3	国道 172 号 (みなと通)	冬 季	14	336	0.046	0.193
				春 季	14	336	0.026	0.124
				夏 季	14	336	0.031	0.103
				秋 季	14	336	0.027	0.118
				全期間	56	1,344	0.033	0.104
		No. 5	臨港道路 コスモ北線	冬 季	14	336	0.048	0.185
				春 季	14	336	0.027	0.137
				夏 季	14	336	0.029	0.117
				秋 季	14	336	0.031	0.113
				全期間	56	1,344	0.033	0.110

(注) 1. 調査期間は、以下に示すとおりである。

〔冬季〕令和 2 年 2 月 7 日(金) 0:00 ～ 2 月 20 日(木) 24:00

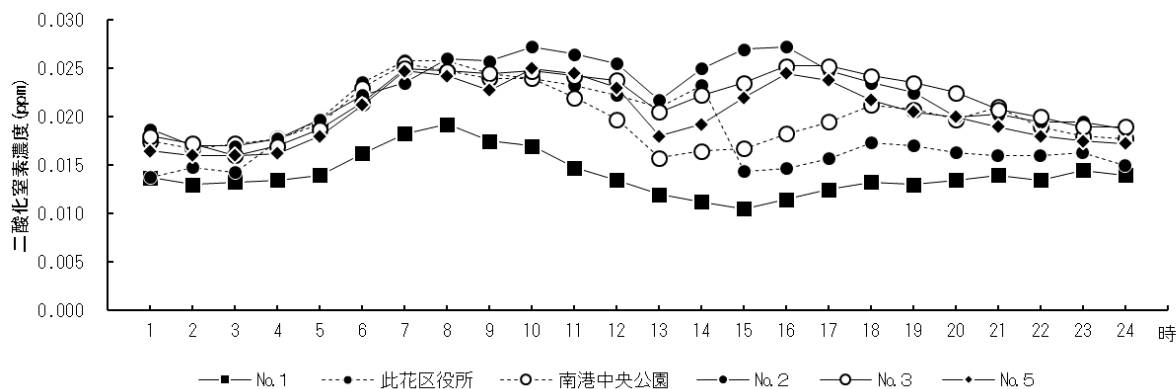
〔春季〕令和 2 年 4 月 9 日(木) 0:00 ～ 4 月 22 日(水) 24:00

〔夏季〕令和 2 年 7 月 21 日(火) 0:00 ～ 8 月 3 日(月) 24:00

〔秋季〕令和 2 年 10 月 22 日(木) 0:00 ～ 11 月 4 日(水) 24:00

2. 此花区役所局の調査結果においては、冬季は欠測期間があるため、参考値である。

3. 全期間の期間平均値は、四季調査全期間中の 1 時間値から算出した。



(注) 時間帯別の濃度は、四季調査全期間中の1時間値の平均値である。

図 5.2.8 時間帯別の二酸化窒素濃度

(iii) 浮遊粒子状物質濃度 (SPM)

浮遊粒子状物質濃度 (SPM) の現地調査結果は表 5.2.14 に、時間帯別の浮遊粒子状物質濃度 (SPM) は図 5.2.9 に示すとおりである。

No. 1 (一般環境) の浮遊粒子状物質濃度の期間平均値は $0.017\text{mg}/\text{m}^3$ であり、現地調査と同期間の此花区役所局 ($0.015\text{mg}/\text{m}^3$) 及び南港中央公園局 ($0.015\text{mg}/\text{m}^3$) の期間平均値より高くなっている。No. 2、No. 3 及び No. 5 (沿道環境) の期間平均値については、 $0.016\sim 0.018\text{mg}/\text{m}^3$ であり、No. 1 (一般環境) と同程度の濃度となっている。

表 5. 2. 14 浮遊粒子状物質濃度の現地調査結果

項目	調査地点	対象道路	調査期間	有効測定 日数 (日)	有効測定 時間 (時間)	期間 平均値 (mg/m ³)	1 時間値 の最高値 (mg/m ³)	日平均値 の最高値 (mg/m ³)
浮遊粒子状物質	一般環境	No. 1	—	冬 季	14	336	0.017	0.090
				春 季	14	336	0.016	0.051
				夏 季	14	336	0.021	0.064
				秋 季	14	336	0.015	0.054
				全期間	56	1,344	0.017	0.090
		此花区役所局 ²⁾	—	冬 季	6	169	(0.018)	0.076
				春 季	14	335	0.013	0.045
				夏 季	14	335	0.018	0.103
				秋 季	13	322	0.013	0.067
				全期間	47	1,161	0.015	0.103
		南港中央公園局	—	冬 季	14	334	0.016	0.055
				春 季	14	335	0.012	0.033
				夏 季	14	334	0.018	0.054
				秋 季	12	312	0.013	0.037
				全期間	54	1,315	0.015	0.055
	沿道環境	No. 2	市道福島 桜島線 (北港通)	冬 季	14	336	0.019	0.094
				春 季	14	336	0.014	0.039
				夏 季	14	336	0.020	0.083
				秋 季	14	336	0.015	0.045
				全期間	56	1,344	0.017	0.094
		No. 3	国道 172 号 (みなと通)	冬 季	14	336	0.014	0.093
				春 季	14	336	0.014	0.042
				夏 季	14	336	0.023	0.071
				秋 季	14	336	0.015	0.051
				全期間	56	1,344	0.016	0.093
		No. 5	臨港道路 コスモ北線	冬 季	14	336	0.018	0.084
				春 季	14	336	0.014	0.045
				夏 季	14	336	0.026	0.076
				秋 季	14	336	0.014	0.041
				全期間	56	1,344	0.018	0.084

(注) 1. 調査期間は、以下に示すとおりである。

〔冬季〕 令和 2 年 2 月 7 日(金) 0:00 ~ 2 月 20 日(木) 24:00

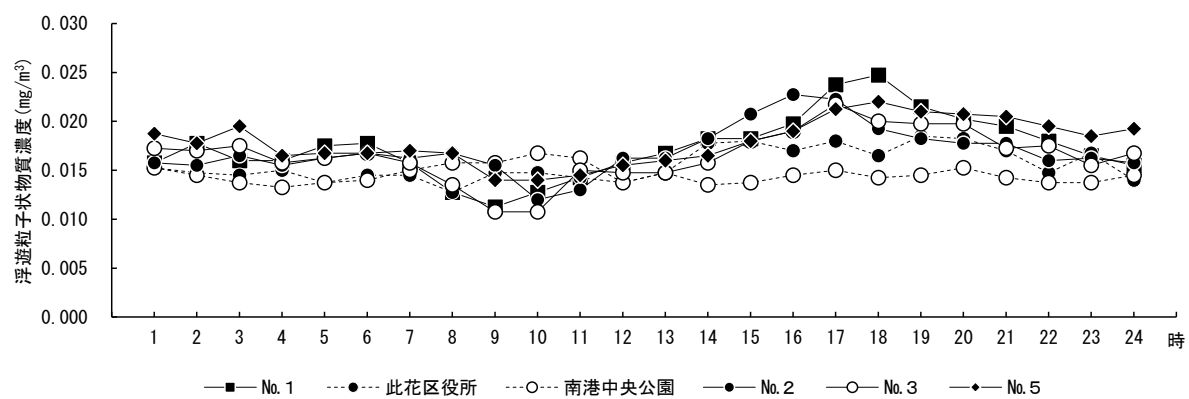
〔春季〕 令和 2 年 4 月 9 日(木) 0:00 ~ 4 月 22 日(水) 24:00

〔夏季〕 令和 2 年 7 月 21 日(火) 0:00 ~ 8 月 3 日(月) 24:00

〔秋季〕 令和 2 年 10 月 22 日(木) 0:00 ~ 11 月 4 日(水) 24:00

2. 此花区役所局の調査結果においては、冬季は欠測期間があるため、参考値である。

3. 全期間の期間平均値は、四季調査全期間中の 1 時間値から算出した。



(注) 時間帯別の濃度は、四季調査全期間中の1時間値の平均値である。

図 5.2.9 時間帯別の浮遊粒子状物質濃度

(イ) 気象の現況

(i) 風 向

風向の現地調査結果は、表 5.2.15 及び図 5.2.10～5.2.11 に示すとおりである。

表 5.2.15 風向の現地調査結果（風向）

調査地点	対象道路	調査項目	冬 季	春 季	夏 季	秋 季	期間平均
一般環境	No. 1 —	最多風向	方 位	NE	NNE	WSW	NE
			出現率 (%)	16.4	15.8	21.1	26.2
		無 風	出現率 (%)	0.3	0.0	0.3	0.6
	此花区役所局 —	最多風向	方 位	WSW	WSW	WSW	NNE
			出現率 (%)	22.9	24.4	34.5	21.4
		無 風	出現率 (%)	5.9	0.6	5.1	2.7
	南港中央公園局 —	最多風向	方 位	WNW	WSW	SE	NW
			出現率 (%)	15.2	11.9	3.0	11.9
		無 風	出現率 (%)	19.9	4.8	90.2	23.5
沿道環境	No. 2 市道福島桜島線 (北港通)	最多風向	方 位	W	W	W	NE
			出現率 (%)	18.2	16.1	25.9	22.3
		無 風	出現率 (%)	5.7	0.9	6.8	1.8
	No. 3 国道 172 号 (みなと通)	最多風向	方 位	NNW	NNW	WSW	NNW
			出現率 (%)	22.0	35.7	38.1	28.0
		無 風	出現率 (%)	21.4	6.0	20.5	16.4
	No. 5 臨港道路 コスモ北線	最多風向	方 位	NE	NE	SW	ENE
			出現率 (%)	17.0	20.2	27.4	19.9
		無 風	出現率 (%)	3.6	0.6	1.5	2.4

(注) 1. 調査期間は、以下に示すとおりである。

〔冬季〕 令和 2 年 2 月 7 日(金) 0:00 ～ 2 月 20 日(木) 24:00

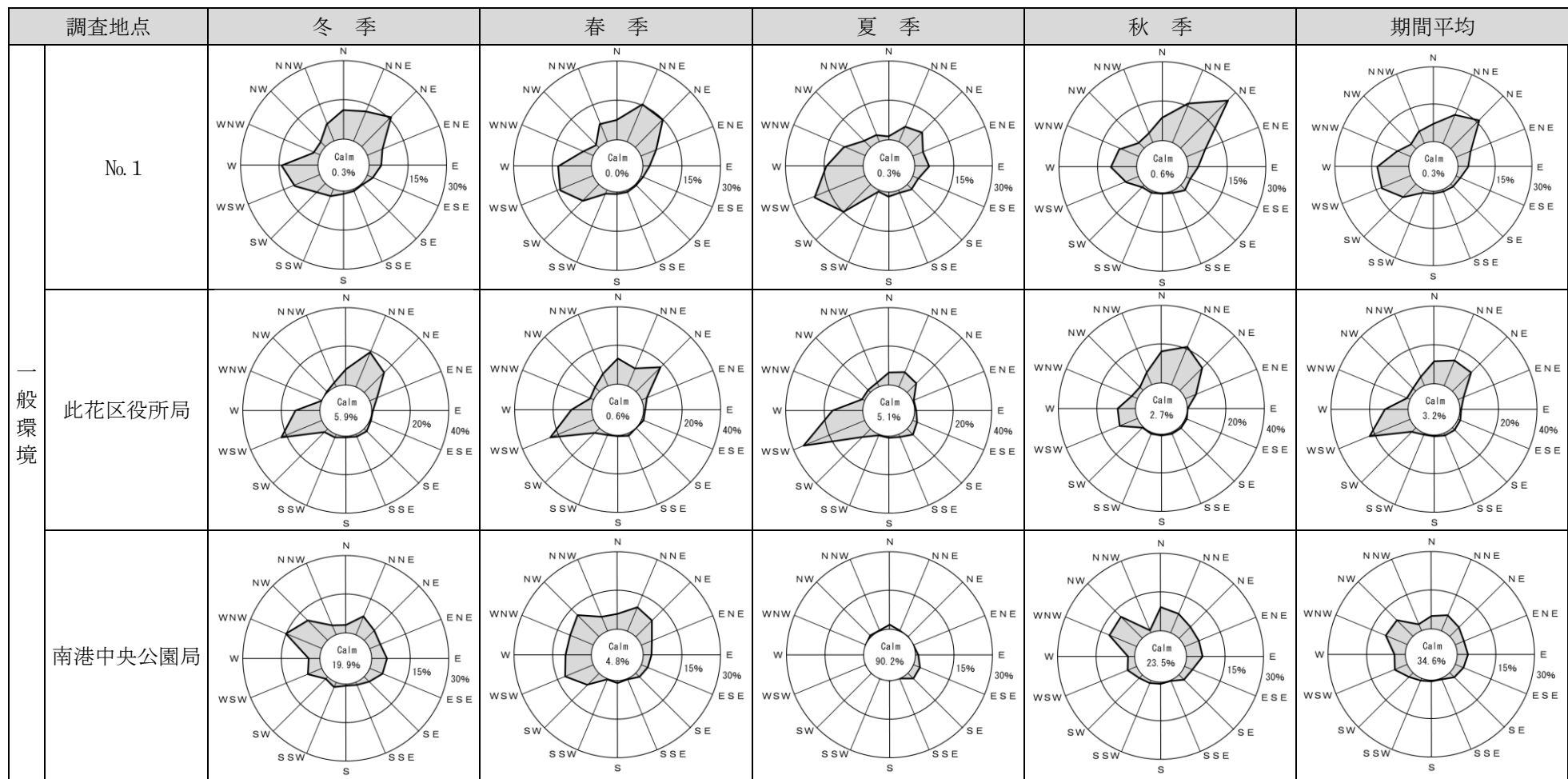
〔春季〕 令和 2 年 4 月 9 日(木) 0:00 ～ 4 月 22 日(水) 24:00

〔夏季〕 令和 2 年 7 月 21 日(火) 0:00 ～ 8 月 3 日(月) 24:00

〔秋季〕 令和 2 年 10 月 22 日(木) 0:00 ～ 11 月 4 日(水) 24:00

2. 無風は 0.4m/s 以下を示す。

3. 期間平均は、四季調査全期間中の 1 時間値から算出した。



(注) 1. 調査期間は、以下に示すとおりである。

〔冬季〕 令和2年2月7日(金) 0:00 ~ 2月20日(木) 24:00

〔春季〕 令和2年4月9日(木) 0:00 ~ 4月22日(水) 24:00

〔夏季〕 令和2年7月21日(火) 0:00 ~ 8月3日(月) 24:00

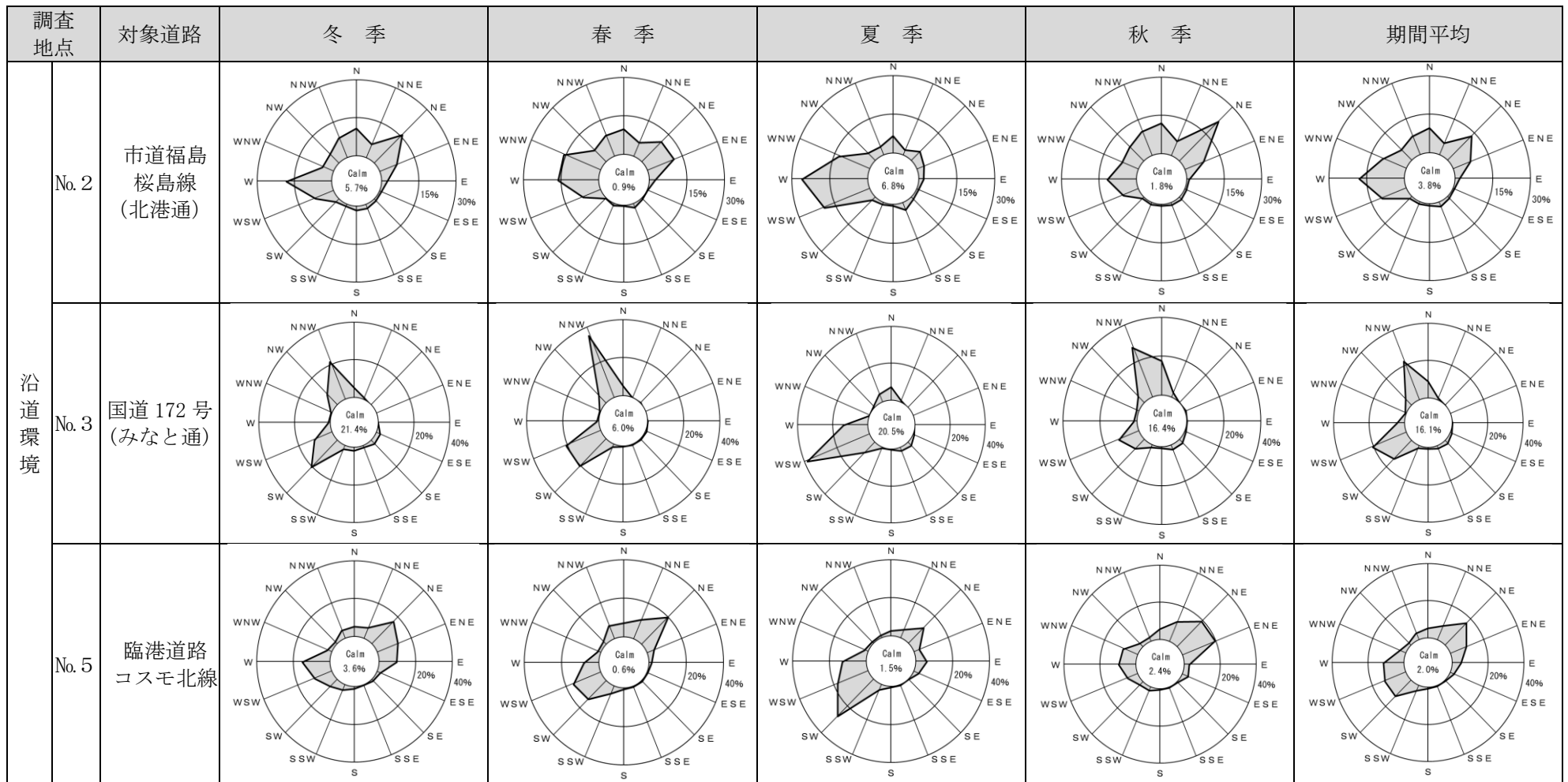
〔秋季〕 令和2年10月22日(木) 0:00 ~ 11月4日(水) 24:00

2. 無風 (Calm) は0.4m/s以下を示す。

3. 各調査地点における測定高さは、以下のとおりである。

No. 1 : 10m 此花区役所局 : 17m 南港中央公園局 : 14m

図 5. 2. 10(1) 風向の現地調査結果 (季節別風向出現頻度図)



(注) 1. 調査期間は、以下に示すとおりである。

〔冬季〕 令和 2 年 2 月 7 日(金) 0 : 00 ~ 2 月 20 日(木) 24 : 00

〔春季〕 令和 2 年 4 月 9 日(木) 0 : 00 ~ 4 月 22 日(水) 24 : 00

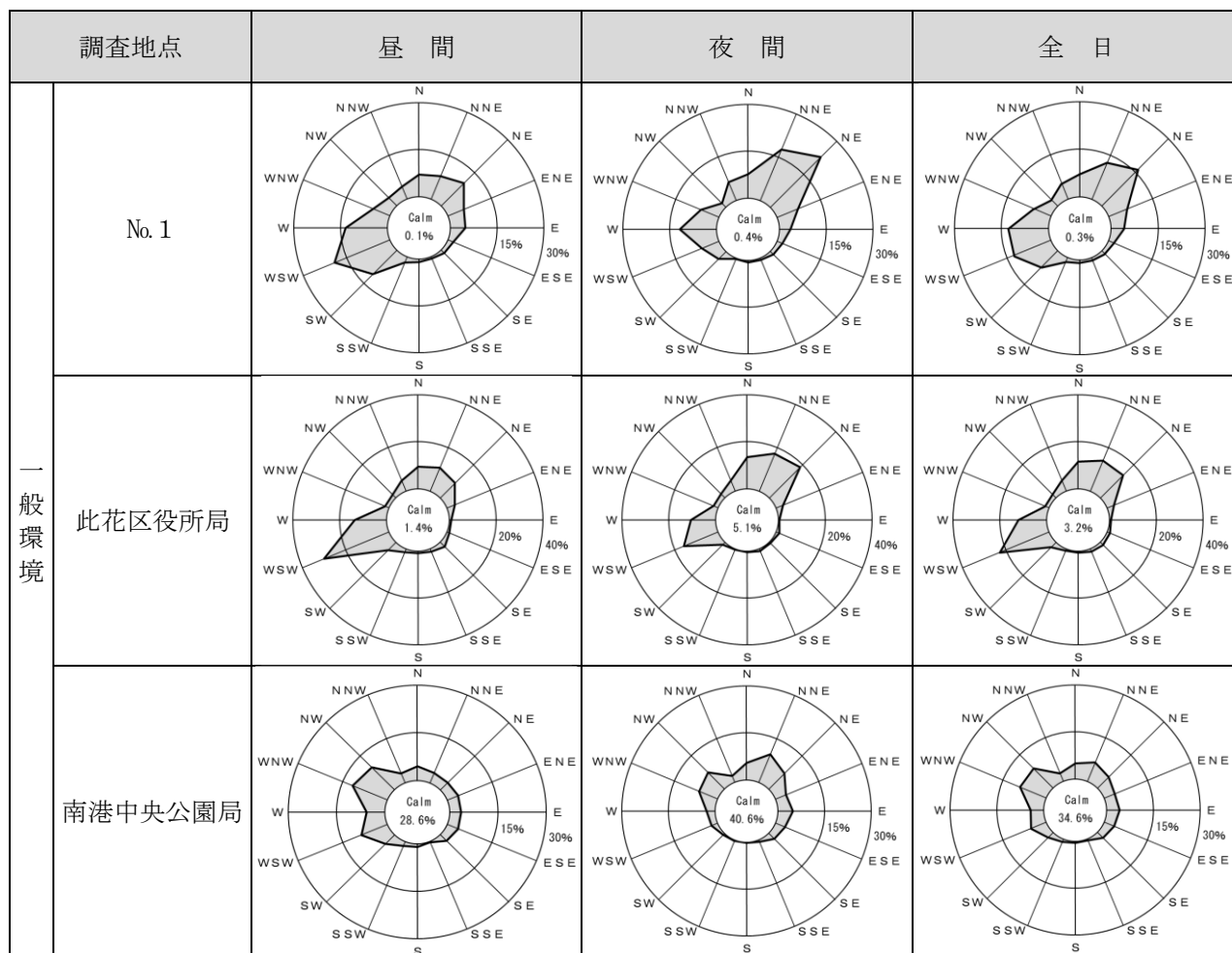
〔夏季〕 令和 2 年 7 月 21 日(火) 0 : 00 ~ 8 月 3 日(月) 24 : 00

〔秋季〕 令和 2 年 10 月 22 日(木) 0 : 00 ~ 11 月 4 日(水) 24 : 00

2. 無風 (Calm) は 0.4m/s 以下を示す。

3. 各調査地点における測定高さは、各地点とも 10m である。

図 5.2.10(2) 風向の現地調査結果 (季節別風向出現頻度図)



(注) 1. 各時間帯の値は、四季調査全期間中の昼間及び夜間の時間帯別の比率(%)である。各時間帯は、以下に示すとおりである。

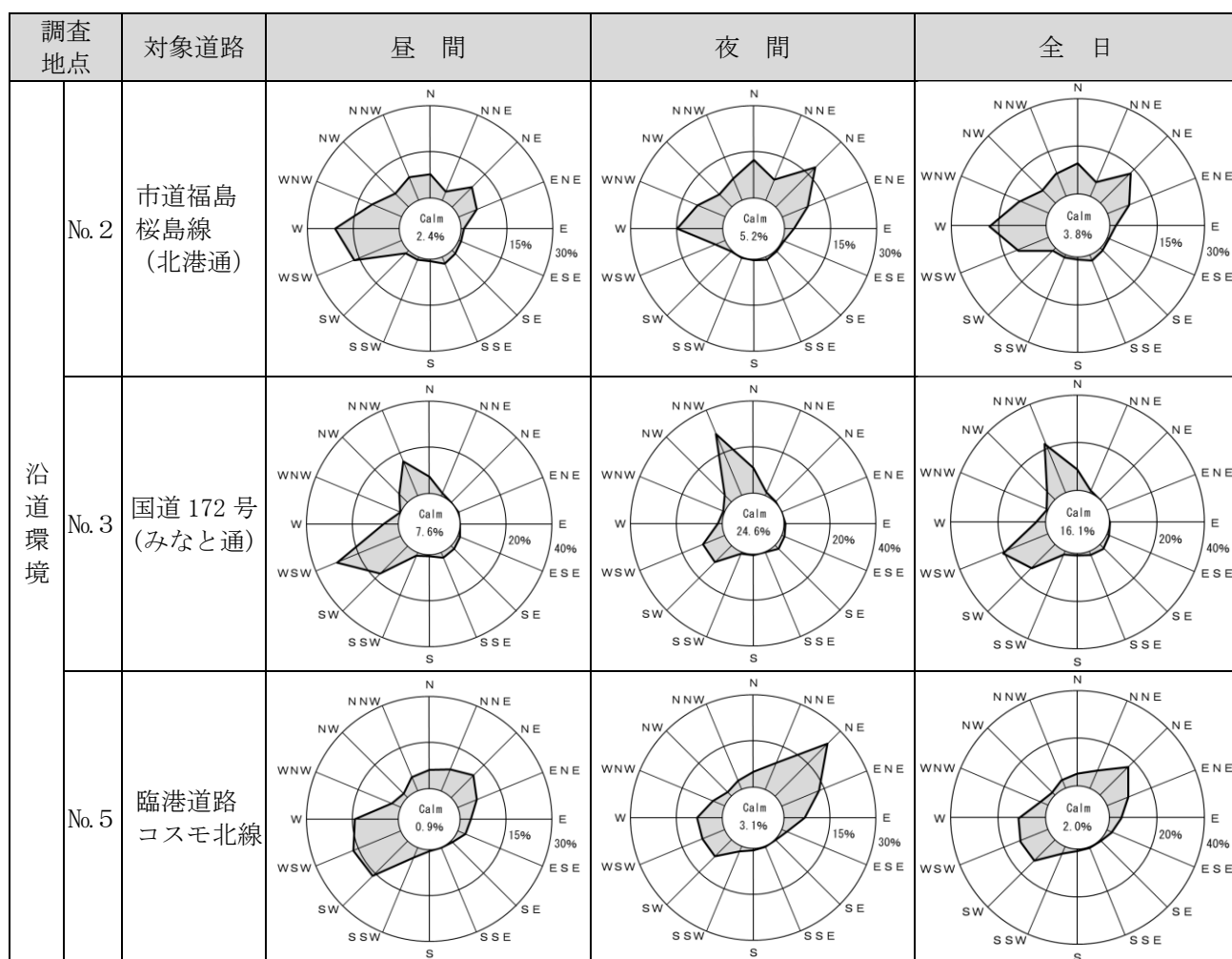
〔昼間〕7:00～19:00、〔夜間〕19:00～7:00

2. 無風(Calm)は0.4m/s以下を示す。

3. 各調査地点における測定高さは、以下のとおりである。

No. 1: 10m 此花区役所局: 17m 南港中央公園局: 14m

図 5.2.11(1) 風向の現地調査結果(時間帯別風向出現頻度図)



(注) 1. 各時間帯の値は、四季調査全期間中の昼間及び夜間の時間帯別の比率(%)である。各時間帯は、以下に示すとおりである。

〔昼間〕 7 : 00 ~ 19 : 00、〔夜間〕 19 : 00 ~ 7 : 00

2. 無風 (Calm) は0.4m/s以下を示す。

3. 各調査地点における測定高さは、各地点とも10mである。

図 5.2.11(2) 風向の現地調査結果(時間帯別風向出現頻度図)

(ii) 風 速

風速の現地調査結果は、表 5. 2. 16 及び図 5. 2. 12 に示すとおりである。

表 5. 2. 16 風速の現地調査結果

(単位：m/s)

調査地点		対象道路	冬季	春季	夏季	秋季	期間平均
一般環境	No. 1	—	4.0	5.1	3.4	3.9	4.1
	此花区役所局	—	2.1	2.6	1.7	2.0	2.1
	南港中央公園局	—	1.3	1.5	0.2	0.8	0.9
沿道環境	No. 2	市道福島桜島線 (北港通)	1.7	2.0	1.3	1.7	1.7
	No. 3	国道 172 号 (みなと通)	1.1	1.4	0.9	0.9	1.1
	No. 5	臨港道路 コスモ北線	2.9	3.9	2.5	2.8	3.0

(注) 1. 調査期間は、以下に示すとおりである。

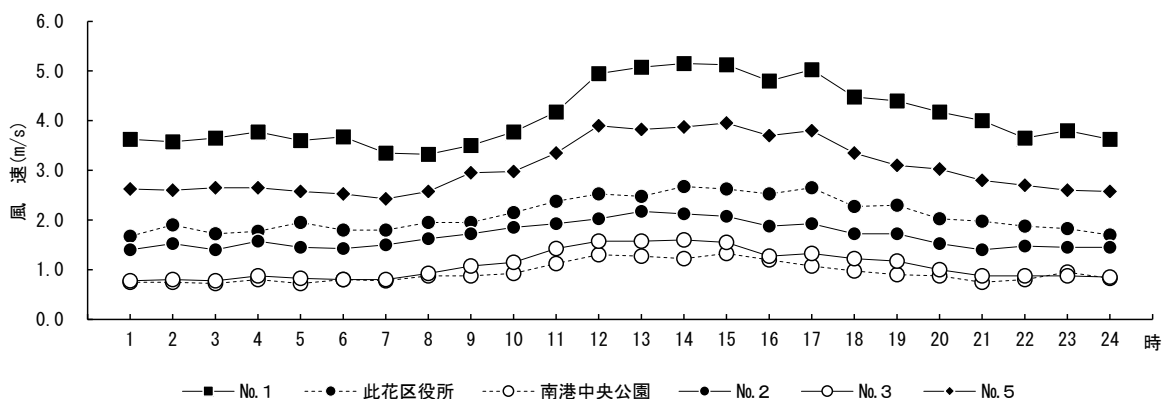
〔冬季〕 令和 2 年 2 月 7 日(金) 0 : 00 ～ 2 月 20 日(木) 24 : 00

〔春季〕 令和 2 年 4 月 9 日(木) 0 : 00 ～ 4 月 22 日(水) 24 : 00

〔夏季〕 令和 2 年 7 月 21 日(火) 0 : 00 ～ 8 月 3 日(月) 24 : 00

〔秋季〕 令和 2 年 10 月 22 日(木) 0 : 00 ～ 11 月 4 日(水) 24 : 00

2. 期間平均は、四季調査全期間中の 1 時間値から算出した。



(注) 時間帯別の風速は、四季調査全期間中の 1 時間値の平均値である。

図 5. 2. 12 時間帯別の風速

(ウ) 交通量の現況

交通量の現地調査結果は表 5.2.17 及び図 5.2.13 に、時間帯別交通量は図 5.2.13 に示すとおりである。

表 5.2.17(1) 交通量の現地調査結果（平日）

（単位：台/日）

調査地点	対象道路 ＜車線数＞	小型車類	大型車類 ²⁾	計 (大型車混入率) ³⁾
No.2	市道福島桜島線（北港通） ＜6車線＞	11,881	9,318	21,199 (44.0%)
No.3	国道172号（みなと通） ＜6車線＞	11,957	5,141	17,098 (30.1%)
No.4	臨港道路環状西線 ＜8車線＞	8,191	9,403	17,594 (53.4%)
No.5	臨港道路コスモ北線 ＜5車線＞	6,128	10,605	16,733 (63.4%)

- （注） 1. 調査日は令和3年3月10日（水）12時～令和3年3月11日（木）12時
 2. 車種別交通量の車種区分は、表 5.2.18 に示すとおりである。
 3. 大型車混入率＝大型 / （大型＋小型）×100%

表 5.2.17(2) 交通量の現地調査結果（休日）

（単位：台/日）

調査地点	対象道路 ＜車線数＞	小型車類	大型車類 ²⁾	計 (大型車混入率) ³⁾
No.2	市道福島桜島線（北港通） ＜6車線＞	10,485	2,575	13,060 (19.7%)
No.3	国道172号（みなと通） ＜6車線＞	9,375	917	10,292 (8.9%)
No.4	臨港道路環状西線 ＜8車線＞	7,216	1,803	9,019 (20.0%)
No.5	臨港道路コスモ北線 ＜5車線＞	4,997	1,046	6,043 (17.3%)

- （注） 1. 調査日は令和3年3月14日（日）0～24時
 2. 車種別交通量の車種区分は、表 5.2.18 に示すとおりである。
 3. 大型車混入率＝大型 / （大型＋小型）×100（%）

表 5.2.18(1) 車種別交通量の車種区分

車種区分	自動車の種類等
小型車類	大型車類及び二輪車を除く自動車
大型車類	表5.2.18(2)に掲げる自動車
二輪車	自動二輪車、原動機付自転車

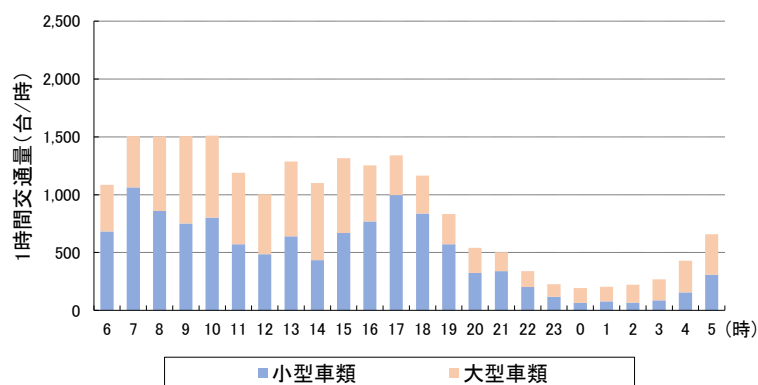
出典：「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」（環境省、平成27年10月）

表 5.2.18(2) 大型車種の区分

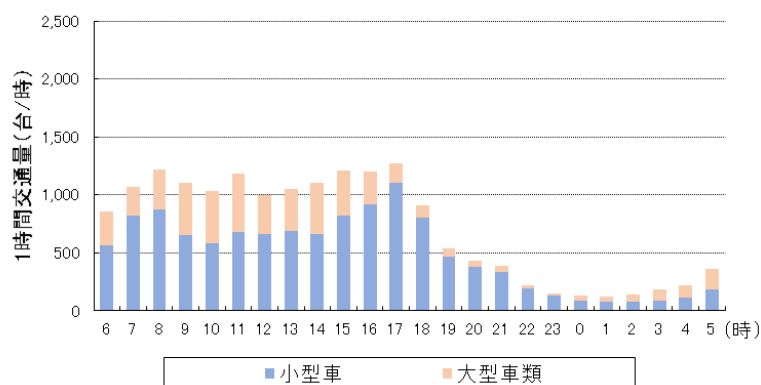
区 分		ナンバープレート	その他特徴	代表的な車種
大型車Ⅰ	普通貨物自動車	・ 1、10～19 まで及び 100～199 まで (大型番号標) 例：品川 12 あ 1234	・ 3 車軸以下 (最大積載量 5 t 以上) (車両総重量 8 t 以上) ・ 4 車軸自動車 〔車両の寸法が車両制限令〕 〔限度以下〕 〔車両制限令の車両の寸法は長さ12.0m以下、幅2.5m以下、高さ3.8m以下〕 (車両総重量25 t 以下)	・ キャブオーバートラック ・ ダンプ ・ トラクタ
	特殊用途自動車	・ 8、80～89 まで及び 800～899 まで (大型番号標) 例：品川 88 た 5678	・ 普通車が 2 軸のトレーラをけん引 ・ 2 軸のトレーラーヘッドが 1 軸の被けん引自動車をけん引 ・ 2 軸の大型車 (Ⅰ) が 1 軸の被けん引自動車をけん引	・ コンクリートミキサー車 ・ タンク車
	乗合自動車	・ 2、20～29 まで及び 200～299 まで (大型番号標) 例：品川 22 あ 9012	・ 乗車定員30人以上 ・ 車両総重量 8 t 以上	・ 観光バス ・ 路線バス
大型車Ⅱ	普通貨物自動車	・ 1、10～19 まで及び 100～199 まで (小型番号標) 例：品川 11 あ 1234	・ 車両総重量 8 t 未満 ・ 最大積載量 5 t 未満	・ キャブオーバートラック ・ バン型トラック
	特殊用途自動車	・ 8、80～89 まで及び 800～899 まで (小型番号標) 例：品川 88 さ 5678		・ 冷蔵冷凍車 ・ 塵芥車
	乗合自動車	・ 2、20～29 まで及び 200～299 まで (小型番号標) 例：品川 22 す 9012	・ 乗車定員11人以上29人以下	・ レンタカー ・ マイクロバス

出典：「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」（環境省、平成 27 年 10 月）

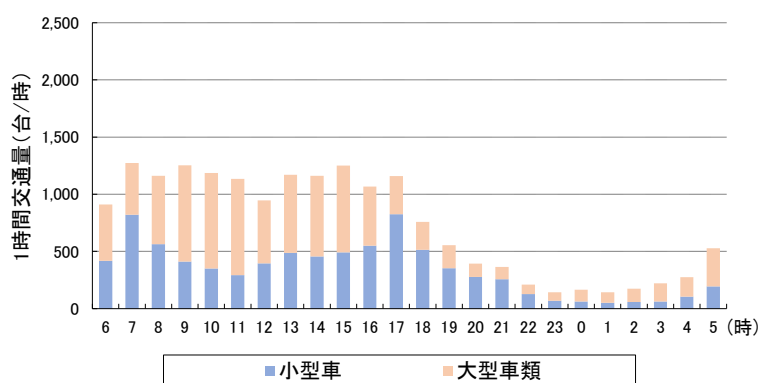
【No. 2 : 市道福島桜島線（北港通）】



【No. 3 : 国道 172 号(みなと通)】



【No. 4 : 臨港道路環状西線】



【No. 5 : 臨港道路コスモ北線】

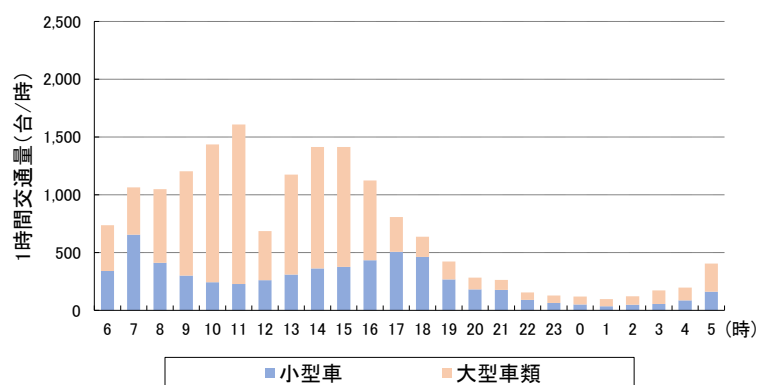
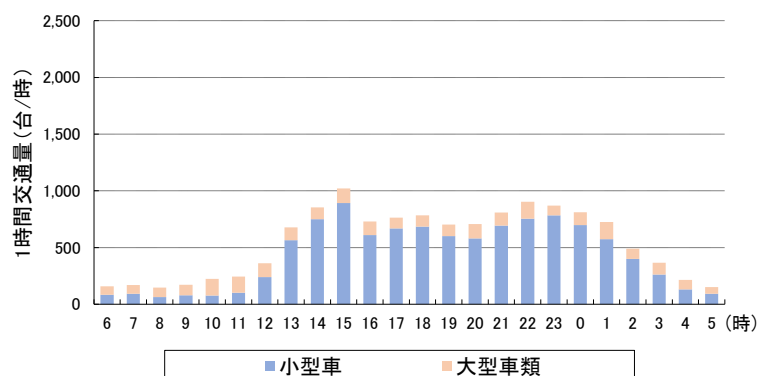
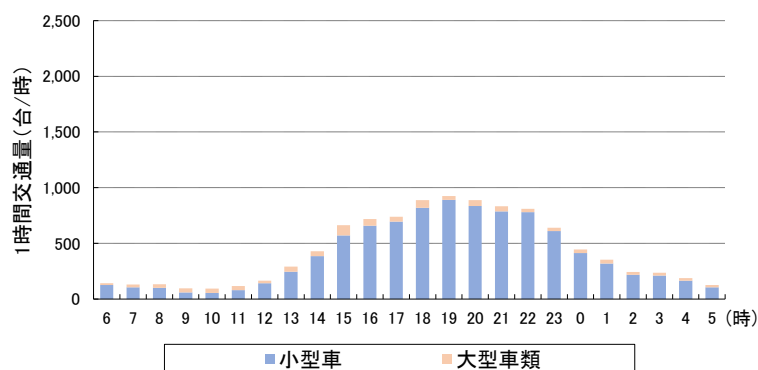


図 5. 2. 13(1) 時間帯別交通量（平日）

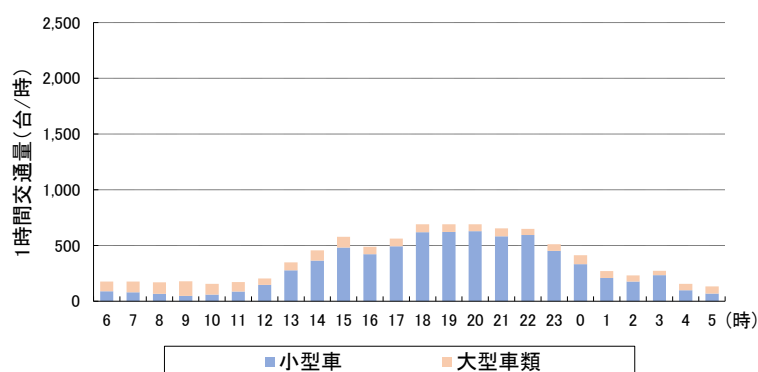
【No. 2 : 市道福島桜島線（北港通）】



【No. 3 : 国道 172 号(みなと通)】



【No. 4 : 臨港道路環状西線】



【No. 5 : 臨港道路コスモ北線】

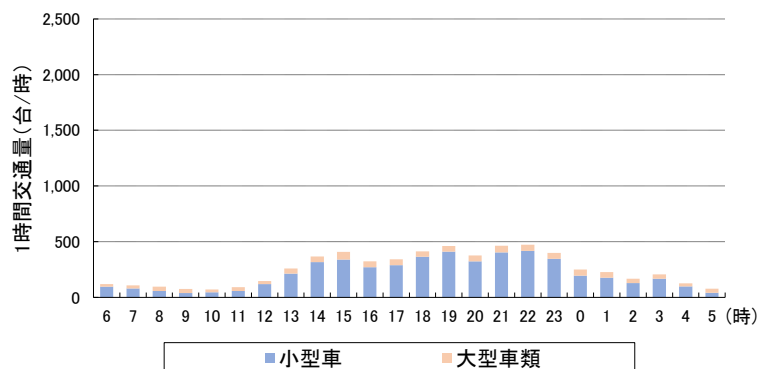


図 5. 2. 13(2) 時間帯別交通量（休日）